

平成25年度 指定管理者施設管理評価シート

部 福祉部 課 高齢福祉課

<b>施設名称</b>		〔30〕 東京都台東区立せんぞくデイホーム				
<b>指定管理者の名称</b>		社会福祉法人台東区社会福祉事業団		<b>指定期間</b>	H23. 4. 1 ~ H27. 3. 31	
<b>1. 指定管理者の概要</b>						
(1) 業務内容	台東区の児童及び高齢者福祉の充実を図るため、児童館や高齢者施設の管理・運営を行う。					
(2) 類似施設の管理実績	あさくさ・みのわ高齢者在宅サービスセンター					
(3) 経営状況	(24年度決算ベース) [社会福祉事業会計] 歳入2, 879, 571, 566円, 歳出2, 629, 524, 402円, 収支差額250, 047, 164円					
<b>2. 施設の概要</b>						
(1) 所在地	台東区千束3-28-13					
(2) 設置目的	要支援、要介護高齢者のデイサービスの場として、その心身の健康保持及び生活の安定のための各種の介護サービスを提供する。					
(3) 利用者	要支援・要介護と認定された高齢者					
(4) 開館日・時間	月曜日から土曜日（年始1月1日～2日を除く）8時30分～17時15分					
(5) 規模	延べ床面積 6,733.87㎡のうち755.5㎡ 鉄筋コンクリート造 地上7階地下2階のうち5階の部分					
(6) 人員体制	1名 内訳…介護職員(1)					
<b>3. 事業（サービス提供）の概要</b>						
(1) 委託事業	①認知症対応型通所介護（送迎・入浴・食事・機能訓練・生活相談等）②介護予防認知症対応型通所介護（送迎・入浴・食事・生活相談等）（定員 認知症対応デイ：12名）					
(2) 自主事業	自主事業は行っていない					
<b>4. 予算決算の推移</b>						
		<b>20年度</b>	<b>21年度</b>	<b>22年度</b>	<b>23年度</b>	<b>24年度</b>
予算	委託料	—	—	—	6,000,000	11,059,000
	利用料金収入	—	—	—	27,411,000	25,645,000
	その他収入	—	—	—	0	321,000
	管理経費	—	—	—	33,411,000	37,025,000
決算	委託料	—	—	—	6,000,000	11,059,000
	利用料金収入	—	—	—	17,355,840	25,297,734
	その他収入	—	—	—	2,390,525	4,641,255
	管理経費	—	—	—	25,158,497	31,291,147
	収支	—	—	—	587,868	9,706,842
<b>5. 施設の稼働状況等（活動指標）</b>						
<b>指標名称</b>		<b>単位</b>	<b>21年度</b>	<b>22年度</b>	<b>23年度</b>	<b>24年度</b>
開館日数		日	—	—	313	310
定員		人	—	—	12	12
<b>6. 成果指標</b>						
<b>指標名称</b>		<b>単位</b>	<b>目標値 (26年度)</b>	<b>22年度</b>	<b>23年度</b>	<b>24年度</b>
利用率		%	65.0	—	40.0	54.4
利用者数		人	2,410	—	1,503	2,025

**7. 平成24年度評価結果に対する現在までの取組み**

入浴方法（機械浴）を増やした点や施設の写真を掲載したチラシを数種類作成し、ケアマネジャーに配布する等、施設のサービス内容を普及啓発に努め、利用率の改善に取り組んでいる。危機災害時の対応についても、複合施設内の他施設と連携をとり訓練等を実施している。

**8. 評価項目**  
 3：協定等の水準を上回っている。  
 2：協定等の水準どおりである。  
 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。  
 0：協定等の水準を下回っている。  
 -：評価対象外項目。

評価の観点	評価項目			
(1) 事業の運営 平均 [2.0]	(a) 施設の目的達成	[2]	(f) 開館時間等の遵守	[2]
	(b) サービス水準	[2]	(g) 自主事業の成果	[2]
	(c) 職員配置	[2]	(h) 個人情報保護	[2]
	(d) 職員研修	[2]	(i) 緊急時対応	[2]
	(e) 案内・接遇	[2]	(j) 警備・防犯体制	[2]
(2) 施設の維持管理 平均 [2.0]	(a) 建物保守・設備機器点検	[2]	(e) 危険箇所等の確認	[2]
	(b) 備品の管理	[2]	(f) 管理記録の作成・保存	[2]
	(c) 清掃・衛生管理	[2]	(g) 業務委託の事前承認	[2]
	(d) 施設の修繕	[2]	(h) 省エネ・省資源・環境配慮	[2]
(3) 利用者の満足度 平均 [1.8]	(a) 利用者・第三者機関の評価	[2]	(d) 利用しやすい環境整備	[2]
	(b) 苦情・要望への対応と報告	[2]	(e) 関係団体・地域との関わり	[2]
	(c) 利用者数の目標達成	[1]		
(4) 収入支出 平均 [2.0]	(a) 適正な予算執行	[2]	(c) 収支計画の達成	[2]
	(b) 経費削減のための取組み	[2]	(d) 利用料等の徴収・管理	[2]

**9. 評価**  
 S（水準以上）：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。  
 A（適正）：協定等の水準を満たす管理が行われている。  
 B（一部課題あり）：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。  
 C（課題あり）：協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。  
 D（水準未滿）：協定等の水準を満たしていない。

評価の観点	評価	説明
(1) 事業の運営	A	全体的に適切な事業運営がなされている。介護福祉士・ケアマネジャー資格者の配置など基準以上の職員及び専門職を配置し、職員研修にも積極的に取り組むなど、質の高いサービス提供を行っている。
(2) 施設の維持管理	A	清掃・衛生管理については、全体的に適切に行われている。（複合施設のため、施設全体の管理は区が実施している）
(3) 利用者の満足度	B	機械浴による入浴方法を増やし、重度化して個室では対応できない利用者についても積極的に受け入れを行っている。今後も利用率の改善に向けて、一層サービスの充実や事業内容の周知に努め、利用促進を図っていく必要がある。
(4) 収入支出	A	予算については、節減に努め、概ね適切に執行されている。利用率の向上に努めるとともに、収支の改善に取り組んでいく必要がある。

**10. 総合評価**      良好   妥当   要努力   要改善   不適

**要努力**

施設の管理運営については、質の高いサービスを提供しており、全体的に適切であるが、認知症対応型デイサービスの特徴などが、まだ十分に浸透していないことから、さらなる周知、啓発を図り、利用率の向上に努めていく必要がある。

**11. 平成25年度評価結果に対する今後の対応**

認知症対応型通所介護については、入浴方法を増やす取組みをするなどの取組みは行っているものの、利用率の改善にまでは至っていない。認知症高齢者の増加や多様化するニーズに対応するため、より一層サービス内容の充実や事業内容の周知、普及啓発に努め、利用促進につなげていく必要がある。